平成 30 年９月９日（日）

四季の森公園自然観察会「里山の秋の草花を楽しむ」

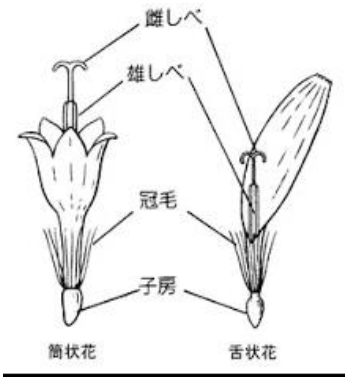
夜鳴く虫、草花の影に隠れている虫を探そう！

NPO 法人四季の森里山研究会　担当：川窪、角田、下田、井鍋、尾崎

「今日は何の日」
〇二十四節気と七十二侯
「白露」９月８日～22 日　大気が冷えて露が宿る頃
初候（８日～12 日）　草露白し
次候（13 日～17 日）セキレイ鳴く
末候（18 日～22 日）つばめ去る
〇9 月９日　重陽の節句（菊の節句）
誕生日の花・ハナシュクシャ　花言葉「あなたを信頼します」

「秋の七草」

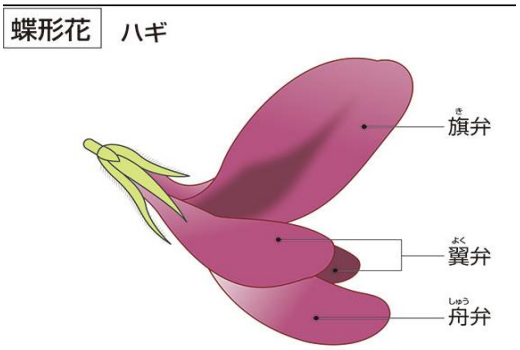
ハギ	キキョウ	クズ	フジバカマ	オミナエシ	オバナ（ススキ）	ナデシコ



・キク科の花を探そう　新しい時代に分化した種
頭状花序　２種類の花冠をもつ花がたくさん集まっている。
舌状花（花冠）　周辺部　筒状花（花冠）　中心部
ひとつの花は５枚の花が合着した合弁花
タンポポ、ノゲシは舌状花だけ
アザミは筒状花だけ

<u>今見られるキク科植物の花</u>
コスモス、ユウガギク、ガンクビソウ、コヤブタバコ

・マメ科の花を探そう　根粒菌（窒素固定）と共生
複葉
花弁は５枚
蝶形花冠　　旗弁１枚　翼弁２枚　船弁２枚



<u>今見られるキク科植物の花</u>
ヤマハギ、クズ、ヌスビトハギ、フジカンゾウ
ツルマメ、トキリマメ、（アレチノヌスビトハギ）

「草むらで秋の虫を探そう」

秋きぬと　目にはさやかに　見えねども　風の音にぞ　驚かれぬ

昔々、みやびな人々は、見えるものよりも、触れる風や虫の音に、一層季節の移ろいを感じていたのかもしれません。

秋の夜長を鳴き通す虫たちを草原で探してみましょう。

バッタ目（直翅目）

バッタ類　　触角は短い
- おおきなバッタ（体長 40mm以上）
- 小さなバッタ（体長 30mm以下）
- とんがり頭のバッタ
- ひし形のバッタ
- イナゴの仲間

コオロギ　　触角は長い、体は左右に平たい
- 顔が平たいコオロギ
- 顔が丸いコオロギ（体長 10mm以上）
- 顔が丸いコオロギ（体長 10mm以下）
- 頭が小さいコオロギ
- カネタタキの仲間（樹上性）

キリギリス　触覚は長い、体は上下に平たい
- とげのある大きなキリギリス
- ツユムシの仲間
- クダマキモドキの仲間
- とんがり頭のキリギリス
- ササキリの仲間

※　　季節の歌「虫のこえ」　文部省唱歌

1．あれ松虫が鳴いている。
　ちんちろちんちろ　ちんちろりん
あれ鈴虫も鳴き出した。
　りんりんりんりん　りいんりん
秋の夜長を鳴き通す
　あゝおもしろい虫のこえ

2．きりきりきりきり　きりぎりす
　がちゃがちゃがちゃがちゃ　くつわ虫
あとから馬おいおいついて
　ちょんちょんちょんちょん　すいっちょん
秋の夜長を鳴き通す
　あゝおもしろい虫のこえ

★　次回は 10 月 14 日（日）。テーマは『里山の果実と種子』です。是非、ご参加ください。